



2020.09

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

2020年度外国人による徳島県日本語弁論大会



今年で31回目を迎えた「徳島県外国人による日本語弁論大会」が、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）で徳島県と徳島県国際交流協会主催により7月18日に開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大予防として、会場には出場者と数名の応援者、そしてスタッフのみとし、アルコール消毒や換気の徹底などを行い、感染予防に努めました。

今大会では、8か国13名の方々が出場され、異文化理解や、自国と日本の違い、日本の生活で感じたことなどを思い思いに発表しました。

最優秀賞に輝いたのは、鳴門教育大学留学生で中華人民共和国出身のフォー・ショウイさん、徳島県議会国際交流議員連盟会長賞に輝いたのは、外国語指導助手でアメリカ合衆国出身のシコルスキ・マウゴジャータさんです。来年は新型コロナウイルスが収束し、例年通りの大会が開催できることを祈っています。

私と日本語教育

フー・ショウイ（中華人民共和国）



皆さんこんにちは。私は馮紹偉と申します。中国の山東省の出身です。2017年に日本に来ました。徳島に来る前は、二年間、福岡に住んでいました。旅行と美食を味わうことが好きなので、この二年間、福岡県だけでなく、九州のほとんどのところに行ったことがあります。今年の4月に徳島に進学できて本当にうれしかったです。これから九州とはまた違った文化に触れられると思いました。しかし、入学した直後、緊急事態宣言が発表されました。それで、家にもって、起きたら食べる、食べたら寝るという自粛の日々が始まりました。今はどこにも行っていません。ただ徳島にいただけで、何も知らない状態です。

私が日本に興味を持ったきっかけは日本のアニメを見たことです。その時、私はいつか字幕なしでアニメを見られるようになったらいいなと思いました。そこで私は、高校を卒業した後、中国の大学の日本語科に進学しました。しかし、私は学業を怠けました。大学四年生になって、周りの人が就職活動を始めたとき、私は焦りました。自分に「今の自分は何ができますか。もし自分が社長だったら、自分を採用しますか」と質問しました。それで、「あっ、やばい。このままじゃ就職は無理だ」と思いました。そこから、私は自分の将来について考え始めました。日本と中国は隣国です。グローバル化が進んでいる今、日本と中国の経済、文化の往来がこれ

からますます増えると考えられます。そこで、英語が間に入るのではなく、日本語と中国語の両方ができる人材がより求められるようになると思います。私は日本と中国を繋ぐ一本の橋になろうと思いました。

私はボランティアとして、ある博覧会で日本語通訳の仕事を手伝ったことがあります。日常会話は全然問題なかったのですが、専門性の高い用語などは全然通訳できませんでした。それで私は、自分ができない分野で、日本と交流したいのに言葉が通じなくて困っている人は大勢いるということに気づきました。幅広い日中交流には、たった一本の橋では絶対足りません。そこで、私は日本語教師になろうと決意しました。自分が橋そのものになるのではなく、橋を作る人になって、日本語と中国語の両方ができる人材を育てたいのです。そして、様々な分野で日本と中国の交流をバックアップしていきたいです。そのために、私は今、鳴門教育大学院の日本語教育・日本文化分野で勉強しています。修士課程修了後は、中国に帰って日本語教師になり、これからの日本と中国の交流に力を注ぐつもりでいます。今の私は日本語教師としてはまだまだです。コロナが終わったら、また積極的に日本文化に接触し、自分の日本語能力と日本語教師としての能力を磨いていきたいと思っています。

弁論大会の様子は、県内ケーブルテレビで放送されます。

<放送日時>

9月 7日(月) 11:00~、20:00~

9月14日(月) 11:00~、20:00~

<放送チャンネル>

けいぶる12(地デジ12ch)



<YouTubeで公開中>

<https://youtu.be/dPShmqjnNXo>

徳島県外国人相談支援ネットワーク会議

徳島県内に在住する外国人は、平成26年（2014年）の約5,000人に対して令和元年（2019年）には約6,600人と、この5年間で1,600人、32%増えています。外国人の多くは、中国やベトナム、フィリピン、インドネシアなどアジアの人たちで、仕事や留学、日本人との結婚など様々な理由により徳島県で暮らしています。5年前は、県民155人に1人が外国人でしたが、今では110人に1人と、さらに身近な存在となり徳島の経済、社会を支える一員になっています。

当協会では、平成13年度（当時、外国人は約4,500人）に、外国人対象の相談業務を行っている機関・団体の連携強化を目的に、徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議を設立し、毎年会議を開催してきました。

昨今、全国的に深刻な人手不足となったことから、国は昨年「新たな外国人材の受け入れ及び共生社会実現に向けた取組」を推進しており、その中には、「多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮）」の100箇所設置などがあり、当協会では、県の委託を受けて「徳島県外国人総合相談窓口」を設置し、外国人からの様々な相談に関係機関と連携しながら応じています。このほか、外国人のための日本語教室や南海トラフ巨大地震を想定した大規模災害時外国人支援訓練なども実施しています。

徳島県在留外国人内訳

国籍・地域別		在留資格別	
中国	1,990	技能実習	3,137
ベトナム	1,812	永住者	1,312
フィリピン	765	留学	469
インドネシア	386	日本人の配偶者等	314
韓国・朝鮮	321	家族滞在	262
米国	168	特定活動	261
カンボジア	148	技術・人文知識・国際業務	193
ミャンマー	137	特別永住者	180
タイ	108	定住者	136
台湾	67	その他	328
ネパール	63	総数	6,592
インド	58		
その他	569		
総数	6,592		

令和元年12月末 単位：人

出典：法務省在留外国人統計

このように国を挙げて、外国人に対するきめ細やかな支援や外国人と日本人の共生を進めていく上で、国・県・市町村の各機関や外国人を支援する関係団体がネットワークを組み、連携をさらに緊密にすることがますます重要になってきています。

このため、外国人を支援する機関・団体の会議へのさらなる加入を促進し、平成30年度の31機関・団体から令和元年度には、61機関・団体と2倍に増え、なかでも市町村は、徳島市だけだったものから現在では県内全市町村が加入しています。

この結果、新型コロナウイルス感染症関連の特別定額給付金（10万円）について、外国人からの相談が多数寄せられました。この会議で作成している構成機関・団体所管事務一覧表があることにより市町村の関係課との連携がスムーズにできました。

今年度第1回の会議は、新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮しながら、7月30日（木）に開催し、（1）県内在住外国人の動向、（2）外国人対象所管事務の現状と課題、（3）外国人総合相談窓口の運営状況、（4）大規模災害時外国人支援訓練の実施、（5）構成員からの提案事業として外国人向け相談窓口一覧の作成等について協議し、情報の共有化と連携強化に取り組みました。

当協会では、この会議によるネットワークを活用して今後さらに外国人の様々なニーズに応えるとともに、多文化共生社会の実現に向けて鋭意取り組んで参ります。



防災出前講座

徳島県では南海トラフ巨大地震の発生が危惧されており、30年以内に70～80%の確率で発生すると言われています。南海トラフ巨大地震が発生した場合、徳島県では最大震度7の強い揺れと津波が起こり、大被害をもたらすことが懸念されています。

自然災害の多い日本では、いつ起こるかわからない災害から命を守るために、毎年9月1日を「防災の日」とし、この日を含む1週間を「防災週間」と定めています。9月には、全国各地で防災講習会や防災訓練が行われ、防災に対する意識付けがされ、保育園や幼稚園でも避難訓練が行われ、幼少期から防災意識を高めています。

現在、徳島県には約6,600人の外国人が在住していますが、まだ多くの人が防災に対する正しい知識を持ち、自然災害への準備をしているとは限りません。そこで、当協会では在住外国人の方に向けて、大地震や津波などの自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座(言語:やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語)を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。外国人を受け入れている学校、病院、施設等で、当協会の防災講座にご興味がありましたら、お気軽にご連絡ください。



徳島県立防災センター・スタディ・ツアー開催

当協会では、県内に在住の外国人の方に向けて「徳島県立防災センター・スタディ・ツアー」を開催します。ツアーでは、災害について学んでいただき、地震や暴風体験、消火器体験をします。防災の大切さを勉強しましょう。

日 時:9月27日(日)13:00～16:00

集合場所:徳島駅前

開催場所:徳島県立防災センター ※徳島駅前付近から借上げバスで行きます

参加対象者:徳島県在住外国人

定 員:20名(先着順)

参加費:無料

参加申込:名前、性別、住所、国籍、電話番号、eメールアドレス、
職業をお書きの上、eメール、もしくはFAXで申し込んでください。

締 切 日:9月17日(木)

お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人徳島県国際交流協会(担当:木村)
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階
TEL(088)656-3303 FAX(088)656-0616
E-mail coordinator1@topia.ne.jp



※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止になる場合があります。



サマースクール「夏休み子ども日本語教室」



今年度は、コロナ禍での開催であったため、参加者が減るのではと危惧しておりましたが、アメリカ、インド、インドネシア、オーストラリア、カナダ、中国、フィリピン、モンゴル、マレーシアの9か国にルーツを持つ子どもたち22名の申し込みがあり、サマースクール(7月24～26日、8月8日～10日 徳島県国際交流協会にて開催)を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、長期に学校が休校したことにより、日本語での会話の機会が減ったことで、さらなる学習のハンディが増えたこと、そして何より友達と交流する機会が多く失われたことなど、多くのマイナス環境が彼らを取り巻いていたのではないかと推察します。

しかしながら、今回サマースクールに参加した子らは皆、それらのマイナス因子を吹き飛ばすように、前向きに、元気にそれぞれの課題(夏休みの宿題や、日本語学習、各自の夢日記)に取り組んでいました。この時間が、彼らにとって有意義な時間だったと同時に、このサマースクールがこれからの日常生活や学校生活をさらに前向きな姿勢で過ごしていくための起爆剤になったことと確信しています。

最後に、この事業に16年にわたり全面的に御協力頂いておりますJTMとくしま日本語ネットワークの皆様のご献身的なご対応に心より感謝申し上げます。



令和2年度 後期日本語教室開催

TOPIAでは、徳島県内にお住まいの外国人の方を対象に日本語教室を開催しています。

開始日:10月4日(日)～

※レベルにより曜日が異なりますので、詳細は当協会のホームページにてご確認ください。

時 間:10:30～12:00

場 所:TOPIA会議室

受講料:無料

使用テキスト:「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」(第2版)(2,750円/1冊 CD付き)

※台風・大雨・大雪の状況により、急にクラスが休講になることがあります。ご了承ください。

★阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、美馬の里、三好市国際交流協会、美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」、多文化共生を考える会「ともに」

(つるぎ町)でも日本語教室を開催しています。なお阿波国際交流協会(阿波市)、

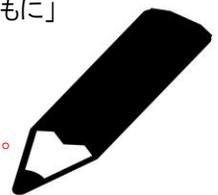
NPO法人あつたかいよう(海陽町)でも秋以降日本語教室開講予定です。

※新型コロナ感染拡大の状況により、スケジュールや託児サービスが変更されることがあります。

あ

い

う





～県内国際交流団体活動紹介～

阿南市国際交流協会 創立30周年 ～多様性が結ぶ日本と世界～

阿南市国際交流協会
副会長 野村 誠也

今年の10月に阿南市国際交流協会はおかげさまで創立30周年を迎えます。それを記念し、阿南市民より当協会のロゴマークを募集いたしました。皆さまからの沢山のご応募の中から、左上のロゴに決定しました。このロゴでは阿南市の「A」と市の花「ひまわり」、そして地球をイメージしています。また、「多様性が結ぶ日本と世界」というスローガンの下、さらに市民の共感を得られる団体を目指して地道な活動を続けてまいります。

当協会では、阿南市富岡町の他に、昨年7月7日から、同市新野町で新たに日本語教室を開始いたしました。現在、阿南市では370人以上の外国人が在住し、今後も人数が増えていくと予測されます。日本語教室を開催することで、日本語の上達を支援し、外国人の言葉の壁を少しでもなくし、外国人と阿南市民の交流を促進しながら、誰もが住みやすく、多様な文化が息づくまちづくりを目指していく所存です。

役員や語学教室のスタッフはボランティアとして活動していますが、市内在住外国人のほんの一部の方々との交流しかできていませんし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、いくつかの事業は中止もしくは延期しています。しかしながら、ここ2、3年で、市民の協力者や賛助団体が30件ほど増えて80件になりました。今後もさらにネットワーク拡大に努めていきたいと思っております。

コロナ禍以前のAIA事業紹介

1 語学教室

<日本語教室> 毎週日曜日

- ・富岡公民館 = 10:00 ~ 12:00
- ・新野公民館 = 13:30 ~ 15:30



楽しくお習字教室

<英語教室> 第2・4月曜日

- ・富岡公民館 = 19:30 ~ 21:00

阿南の夏祭りでおどりを



<中国語教室> 毎週木曜日

- ・富岡公民館 = 19:30 ~ 21:00



阿南市人権フェスティバルに出展中

2 阿波おどり(阿南の夏祭り参加)

3 日本語スピーチコンテスト

4 新年会(市民と外国人の交流)

5 阿南市人権フェスティバルに参加
(市民と外国人の交流)

6 阿南高専留学生による料理教室

7 ベトナム研修(ハノイの日本語学校)

8 バス遠足(祖谷のかずら橋)



祖谷のかずら橋まで遠足!



ハノイの日本語学校の様子

JICA A徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

■世界のいまを知ろう！～徳島大学公開講座（社会連携特別講座）～

JICAは、徳島大学人と地域共創センターが実施する2020年度秋冬期の公開講座にて講座を開講します。

■講座概要：新型コロナウイルスの出現は、現代のグローバル社会における日本と世界との関係にも大きな影響を与えました。今般のコロナ禍の状況を概観し、様々な観点から持続可能な社会の実現に向けた、徳島と世界の新たな時代について考えます。この未曾有の事態となったコロナ危機に対し、答えは一つとはなりません、皆様のご意見や知見もいただきながら、2030年を目標とした持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて、徳島の持続可能な未来を考えていきたいと思っております。

第1回	10/30（金）「コロナ/コロナ後時代の国際協力」 18:30～20:00 講師 米林 徳人（JICA四国センター 次長）	
第2回	11/6（金）「コロナによる経済への影響とこれからの海外ビジネスについて」 18:30～20:00 講師 丸山 香織（JETRO徳島貿易情報センター 所員）	
第3回	11/14（土）「誰一人、社会から排除されることのない徳島の社会づくり」 13:30～15:00 講師 兼松 文子（徳島県労働者福祉協議会 常務理事）	
第4回	11/20（金）「徳島の現状と持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた展望」 18:30～20:00 講師 阿部 篤（徳島県国際交流協会 常務理事）	
第5回	12/4（金）「SDGs未来都市としての挑戦」 18:30～20:00 講師 久保 昌弘（上勝町企画環境課 主幹）	
第6回	12/11（金）「徳島の持続可能な未来に向けた座談会」 18:30～20:00	

参加費
無料

■会場：徳島大学人と地域共創センター 1階第一講義室

■申込締切：8月26日（水）17:00（厳守）

■徳島大学公開講座お申し込み案内：<http://kouza.cue.tokushima-u.ac.jp/>

※注：講座開講時期に、“とくしまアラート”が「①感染観察（強化）（徳島大学BCPLレベル2）以上」の場合、講座開講が中止もしくは延期となる可能性があります。詳細は、時期が近づいてから徳島大学人と地域共創センターホームページ（<http://www.cue.tokushima-u.ac.jp/>）でご確認ください。

■JICAの支援メニュー紹介

JICAでは、日本の地域で発展してきた技術や経験を開発途上国の発展にも活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきたいと思っています。

◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

- 草の根協力支援型（3年以内、1,000万円以内）
- 草の根パートナー型（5年以内、1億円以内）
- 地域活性化特別枠（3年以内、6,000万円以内）

◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

教員向けJICA地球ひろば「先生のお役立ちサイト」
学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材／教師海外研修／JICA海外協力隊への現職参加
→検索「JICAお役立ち」

- 児童・生徒向け国際協力出前講座
 - 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
- 実施中!! 締切9月11日（金）当日消印有効

◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が四国の知識、経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

四国の技術、世界へ！四国の民間企業と途上国を繋ぎます。

- 基礎調査（850万円上限）
- 案件化調査（3,000万円、機材輸送が必要な場合は5,000万円上限）
- 普及・実証・ビジネス化事業（1億円、大規模／高度な製品等を実証する場合は1.5億円を上限）
- 「JICA海外協力隊（民間連携）」を通じたグローバル人材の育成

JICA A徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク：徳島県国際交流協会（TOPIA）内、徳島県国際協力推進員：長田
TEL：088-656-3303 Email：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

※（注）派遣国の政治・治安情勢や感染症を含む自然災害の状況により、事業実施を見合わせる場合があります。

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

募 集 中

徳島には約80か国、約6,600人の外国人の方が住んでおり、昨年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページに新設された「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3カ月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。



徳島県外国人総合相談窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

(1) 多言語(英語・中国語・ベトナム語)相談員の配置

(2) 電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】18言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語

(3) 映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

(4) 対面式通訳機(ポケットーク)の導入(74か国語)

(5) 多言語翻訳アプリ(ボイストラ)の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相談料：無料

（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>